

# 金剛地区施設等再整備基本構想

## 金剛地区施設等再整備基本構想を策定 (R4.3)

- ニュータウン問題が顕在化する金剛地区において、老朽化した施設等の再整備や都市空間の再編などによる都市機能の高度化等に向け、概ね10年間を見据えた再整備のコンセプト、施設・エリア毎の方向性と導入機能を示すことを目的に策定

### 【再整備のコンセプト】

若者・子育て世代の定住促進

誰もが安心して  
健康に暮らせるまちづくり

交流人口・関係人口の増加

居心地が良く  
歩きたくなるまちなかを創出

住民主体の多様な取組の創出

マルチパートナーシップによる  
多面的な魅力の創出

金剛地区は、昭和40年代に日本住宅公団、現在のUR都市機構により開発され、他のニュータウンと同様に、いわゆる高度経済成長期に多くの人口を受け入れるとともに、大阪市内への良好なアクセス、充実した都市基盤と良好な住環境を備え、本市の西の玄関口として成熟してまいりました。

しかしながら、開発から半世紀以上が経過し、人口減少や少子高齢化、施設の老朽化等、いわゆるニュータウン問題が顕在化しております。

金剛地区は南海金剛駅や良好な住環境など、大きなポテンシャルを持っていることから、この地域を活性化させることは、本市の発展にとって大切なエンジンのひとつになるものと考えています。

本市では、平成29年3月に「金剛地区再生指針」を策定し、持続可能な都市の形成に向けた、地区住民や関係団体等との連携によるソフト面での取組の充実を重点的に進めてきましたが、今後においては、こうした取組をさらに活性化させるとともに、戦略的・中長期的な視点により、老朽化した施設等の再整備や都市空間の再編などによる都市機能の高度化等について、検討を進める段階にきています。

そのような中、金剛地区の施設等再整備に向けた「コンセプト」、「施設・エリア毎の方向性と導入機能」を示す基本構想を、地区住民の皆さまやUR都市機構、南海電鉄株式会社のご意見もお聞きしながら、令和4年3月に策定しました。

基本構想は、金剛中央公園、金剛銀座街商店街、南海金剛駅周辺、寺池公園を対象区域としており、再整備にあたっての考え方として、6つのコンセプトを位置付けております。

地区の将来を担う若者・子育て世代の流出に歯止めをかけ、定住の場として選択されるよう、「若者・子育て世代の定住促進」

誰もが住み慣れた地域で、いつまでも元気で暮らすことができるよう、

「誰もが安心して健康に暮らせるまちづくり」

地区内外の多様な人々の交流をめざす、

「交流人口・関係人口の増加」

人と人の新たなつながりや、まちなかの賑わい創出に向け、

「居心地が良く歩きたくなるまちなかを創出」

地区再生・活性化に向けた住民主体の多様な取組の創出に向け、

「住民主体の多様な取組の創出」

市民協働・公民連携・民民連携などによる地区の課題解決に向け、

「マルチパートナーシップによる多面的な魅力の創出」

をコンセプトとしました。

# ✳ 金剛地区施設等再整備基本構想

## 【方向性と導入機能】

### ①金剛中央公園

【方向性】豊かで多機能な公園空間を創出

【導入機能】子育て支援機能、健康増進機能、  
交流機能、公園機能



### ②金剛銀座街商店街

【方向性】近隣商業地域を活かした賑わいと

住民の「やりたい」が叶う空間を創出

【導入機能】生活利便機能、広場機能



## 各施設の目指す方向性等について

(実際の整備内容については未定の為、イラストは各施設の方向性をイメージ化したものです)

### 金剛中央公園

現在、青少年スポーツホールがある公園ですが、こちらは「豊かで多機能な公園空間を創出」を今後の方向性としておりまして、若者・子育て世代の定住を促進するための「子育て支援機能」、高齢者等の健康で安心できる暮らしの確保や近年の健康志向の高まりに対応するための「健康増進機能」、さらに、地区内外の多様な人々の交流を実現する「交流機能」を備えた多機能施設と、様々な方に使っていただける公園空間へと再編してまいります。

### 金剛銀座街商店街

こちらは、商店街と長らく使用されていないピュア金剛跡がある場所で、UR都市機構の所有者なのですが、「近隣商業地域を活かした賑わいと住民の「やりたい」が叶う空間を創出」を方向性としまして、UR都市機構と連携して、ピュア金剛跡を暫定的にふれあい大通りと一体的で滞留性のある空間へ再編するとともに、この空間の充実を検討してまいります。



## 金剛地区施設等再整備基本構想

### ③南海金剛駅周辺

【方向性】魅力的で利便性が高く  
滞留性のある駅周辺空間を創出  
【導入機能】生活利便機能、交通拠点機能、  
歩行者利便増進機能



### ④寺池公園

【方向性】眺望を活かした  
住民主体の公園空間を創出  
【導入機能】公園機能



### 各施設の目指す方向性等について

(実際の整備内容については未定の為、イラストは各施設の方向性をイメージ化したものです)

#### 南海金剛駅周辺

「魅力的で利便性が高く滞留性のある駅周辺空間を創出」を方向性としまして、駅前空間の再編について南海電鉄や大阪狭山市と連携して検討するとともに、地域活性化の中心軸となる「ふれあい大通り」については、“まちの顔”として、居心地がよく歩きたくなる空間への再編を検討してまいります。

#### 最後に寺池公園

「眺望を活かした住民主体の公園空間を創出」を方向性としまして、地区住民による、水辺とみどりが眺望できる空間づくりを後押ししてまいります。

# ✳ 金剛地区魅力向上拠点“∞KON ROOM”

## 金剛地区魅力向上拠点“∞KON ROOM”を設置 (R3.1~)

- 金剛地区住民の「はたらく」、「まなぶ」、「つどう」場として、富田林市とUR都市機構が共同設置
- コワーキングスペース、自習スペース、会議スペース、休憩スペース、情報発信の場を主な機能とし、コロナ禍によるライフ・ワークスタイルの変化を踏まえて運営



公共空間(公園)を活用した社会実験



住民のやりたい!を実現する場づくり



## 金剛地区魅力向上拠点「∞KON ROOM(インフィニット・コンルーム)」

市役所の金剛連絡所の北側に、金剛地区住民の「はたらく」、「まなぶ」、「つどう」場として、UR都市機構との共同設置という形で、昨年、令和3年1月から開設しています。

この拠点は、コロナ禍の中、オープンした施設で、ライフスタイル、ワークスタイルの変化を踏まえ、コワーキングスペース、自習スペース、会議スペース、休憩スペース、情報発信の場を主な機能として運営しています。

最近では、拠点の認知度も徐々に向上しておりまして、学校帰りの学生が自習で利用されたり、在宅ワークの場所として利用いただいたりしているほか、スマートシティということで、ICTを活用した地元野菜の無人販売の実証場所としても活用しています。

また、拠点の事業として、公園等の公共空間を活用した社会実験を実施したりですとか、地区住民の皆さんがやりたいと思うことの実現の場としても利用いただいています。

これらの「金剛地区の新たなまちづくり」の取組は、全体の一部ですが、「金剛地区の活性化」を進めていくことは、本市にとって、非常に重要であると考えております。

今年度は、金剛中央公園のリニューアルに向けた基本計画を策定することを予定しているほか、UR都市機構と南海電鉄と富田林市の3者が連携したイベントの実施等も予定しています。

まちづくりは時間がかかるもので、すぐに課題が解決するものではありませんが、今後も引き続き、金剛地区の新たなまちづくりに尽力していきたいと考えています。